



Be an ACE!

大志・貢献・活力

県立直江津中等教育学校

H26学校だより No. 9

平成26年5月30日発行

学力推移調査の結果～努力は決して裏切らない～

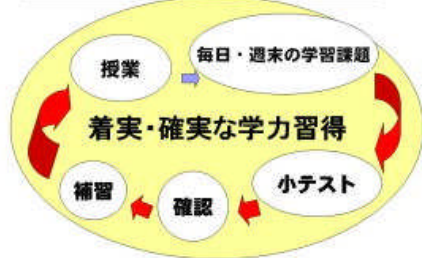
4月に実施した前期課程の学力推移調査（ベネッセ）の全国集計結果が返却されてきました。この学力推移調査には、全国の中高一貫教育校約500校の中等部（前期課程）が参加しますので、全国におけるおおよその自分の順位が分かります。他校の生徒より自分が頑張っていれば、相対的に偏差値が上がりますし、その逆もあります。偏差値に一喜一憂する必要はありませんが、自分の学習への取組状況について見直す必要があります。家庭学習時間をしっかり確保しているなど学習習慣が身に付いている生徒は、必ず学力は向上します。努力なくして成果なしです。

本調査における成果や課題は学年ごとに異なりますので、今後学年だよりや学年PTAにてお伝えします。

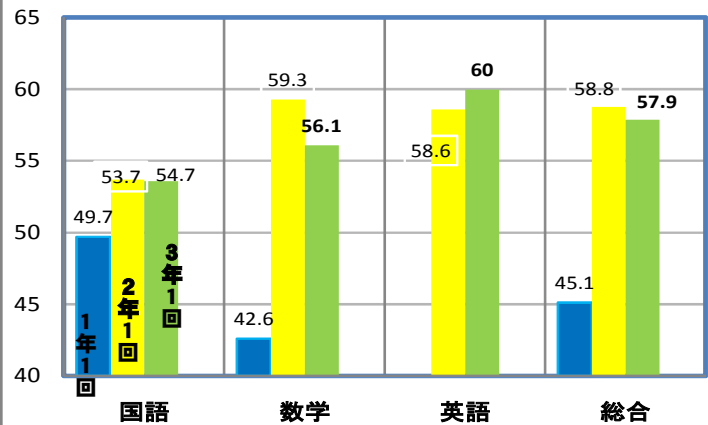
【直江津中等の学習支援体制】

「継続は力なりです！」分からないところは分かるまで追究していきましょう。

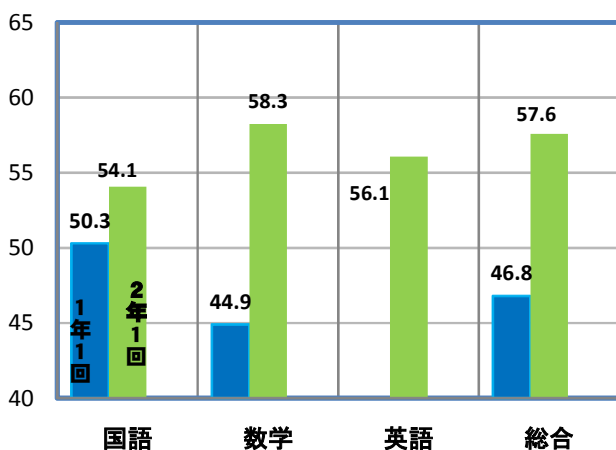
本校独自の徹底的な学習支援体制



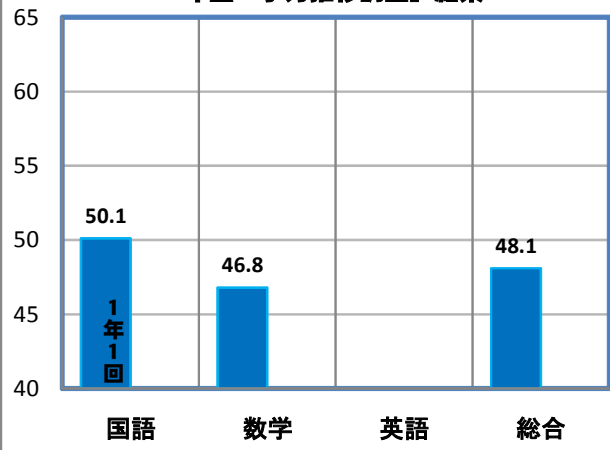
3年生「学力推移調査」の偏差値推移



2年生「学力推移調査」の偏差値推移



1年生「学力推移調査」結果



来週の名な予定

- 6月 4日（水）
 - ・前期課程 市内各種大会 給食なし 特別編成授業（3限まで）
 - ・後期課程 月曜授業 カウンセラー来校（午前中）
- 5日（木）
 - ・前期課程 市内各種大会 給食なし 特別編成授業（3限まで）
 - ・後期課程 普通授業 中間考査のため部活動停止（～16日まで）
- 6日（金）
 - ・4年生キャセックテスト



ネットトラブル防止教室～ネット社会を生きるスキルを身に付けよう～

今週、吉田美穂子様（携帯電話会社の安全インストラクター）を講師に、携帯電話・インターネットトラブル防止教室を行いました。

いつでもどこでもインターネットに接続でき大変便利になった一方、様々なネットいじめやネット犯罪が起き、それに子どもたちが巻き込まれるケースが増加しています。また、子どもが被害者になるだけでなく加害者になるケースもでています。ネット利用におけるトラブルは本校においても例外ではありません。昨年度も同様の講演会を実施し、生徒への啓発に努めていますが、生徒がケータイを利用しているのは主に家庭内です。深刻ないじめや犯罪、無用なトラブルに巻き込まれることを回避するため、携帯電話、スマートフォンの利用には免許や資格が必要であると思います。もちろん利用の免許や資格を与えるのは、保護者の役割であり責任であると思います。無用に子どもに買い与えないこと、利用状況により解約することなど保護者のしっかりとした監督が必要です。生徒の本分は学習であることを再確認したいものです。

ネット上で子どもたちが直面している危険性について

【情報技術の進歩】

インターネット、携帯電話はもちろんですが、メール等の機能があるゲーム機も出回っています。

【大人の状況】

急速な情報技術の進展に、大人がついていけず、子どもの方が詳しい状況が生まれている。

【ネット社会で子どもたちが置かれている状況】

① 犯罪に巻き込まれたり、高額な請求をされたりしてしまうケース

- ・有害サイト ・出会い系サイト ・ワンクリック請求
- ・不正アクセスの被害（ID、パスワードを他人に知られて）
- ・無料ゲームサイト（アイテムの購入は有料）

② ネット上の誹謗・中傷により深刻ないじめへと発展するケース

匿名になることにより、簡単に誹謗・中傷を書き込むことがあります。本人に何の落ち度もないのに突然いじめの対象となったり、加害者にもなったりすることがあります。

またコミュニケーションアプリのグループ機能で楽しくやりとりをしていたA子さんが、いつの間にか自分以外の子が別のグループをつくりA子さんの悪口で盛り上がっていたなどのトラブル事例も報告されています。 ・プロフ ・なりすましメール ・学校裏サイト ・SNS

スマートフォンでは、カメラ機能で写真を撮影する際、位置情報も記録されます。この機能をONにしたままネット上に公開すると位置情報も公開されてしまいます。

③ ネットやメール等のし過ぎで生活のリズムを崩してしまうケース

ソーシャルゲームにはまったり、「すぐに返信をしなくてはいけない」と強迫観念に陥ったりして、食事中や夜中までネットやメールをして生活リズムを崩してしまうことがあります。

【無用なトラブルを回避する方法】

1 安易に携帯電話、スマートフォン、ゲーム機を購入しない

生徒の本分は学習です。本校に入学した目的を再確認して、我慢させることも重要です。なお、ゲーム機もスマートフォンもネットの利用ができるため小さなパソコンと同じ機能を持ちます。

2 フィルタリング（有害サイトアクセス制限サービス）に加入すること

スマートフォンは、2つの接続方法（携帯電話回線と無線LAN回線）があります。このため、どちらで接続しても機能するフィルタリングが必要です。無線LANの接続の場合は、利用者が別途フィルタリング設定を行うことを忘れないようにしてください。

3 大人の役割—大人の監督とルールづくり—

① 大人が危険性や対処の仕方などの正しい情報を得ること

大人が知らないと子どもたちに的確な指導や監督ができません。子どもたちが常に危険と背中合わせであることを認識して、正しい情報を得る努力をしましょう。技術革新により進化する情報機器に大人もついていかなければ、子どもに利用の免許は与えられません。

② 子どもと使用上のルールを話し合っておくこと

使用時間や料金、利用の仕方等についてルールを決めておいてください。